

新年のご挨拶

病院長

堀越 裕一



新年あけましておめでとうございます。昨年東京オリンピックの開催が決定され、ブラジルワールドカップの一次予選の組み合わせが決まるなど何かとスポーツ面ににぎやかな年でした。また景気の面でもアベノミクスの効果があらわれはじめ、何か将来の展望が開かれた年でもありました。今年は午の年にあたり、良くも悪くも急展開する年とされます。

職員一同、当院の理念を実現するために精一杯頑張らせていただきますので、今年も宜しくお願いいたします。



副病院長

新出 理

新年あけましておめでとうございます。皆様にとって昨年はいかがでしたでしょうか。嬉しいことも悲しいこともあったと思います。私には 2020 年の東京オリンピックの決定が一番のニュースとなりました。まだ先の事ですが、今からとても楽しみにしています。今回の誘致成功は誘致に関わった方々の結束により得られた結果であったと考えます。流行語大賞になった「おもてなし」も印象に残りました。

館林記念病院は「心に残る医療を提供する」ことを理念に掲げ、医療、介護、リハビリテ

ーションを軸として地域に貢献することを社会の使命と考えています。患者様、ご家族、職員が目標を達成するために結束し、我々職員は最良の結果が得られるよう専門的知識・経験の獲得と実行に一層邁進して参りたいと思います。

最後になりましたが、2014年が皆様にとってより一層希望に満ち溢れた年となることを祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。本年も宜しくお願い申し上げます。

ドクター紹介

神経内科

やまもと まさなり

山本 真也 医師



平成 25 年 10 月より毎週火曜日に内科および神経内科を担当させていただきます、獨協医科大学 内科学講座(神経) 山本です。

頭痛、めまい、物忘れ、麻痺や筋力低下、人格変化などでお困りの方は当科へご相談下さいませ。

2013.12.8 たてばやし駅伝大会参加



最近は、ウォーキング・ジョギング・ランニング プームで、健康な身体を楽しみながら手に入れている方を多く見かけます。当院でも、日頃からスポーツを楽しんでいるスタッフがたくさんいます。

先日行われた「たてばやし駅伝大会」に、3チーム 15 人が出場し、3チームとも襷を繋ぐことができました。襷を繋いでいく中で生まれる一体感は格別な物でした。応援に駆けつけてくれたスタッフや、沿道で声をかけてくれた患者様からも、多くの力をいただきました。ありがとうございました。

機会を見つけて、今後も大会に参加したいと思っています。

回復期リハビリテーション病棟紹介

当院の三階病棟は回復期リハビリテーション病棟（以下リハ病棟）です。

脳梗塞や脳出血などの脳血管疾患、病気や怪我などで長い間動かない事で動けなくなる廃用症候群や骨折や背髄損傷などの様々な疾患で障害を負った患者様が、社会復帰を目指す為に入院する病棟です。患者様と家族を中心に医師、看護師、介護士、医療ソーシャルワーカー（相談員）、リハビリテーション（以下、リハ）スタッフ、薬剤師、管理栄養士など多くの職種が関わって社会復帰や生活の質の向上を支援していく病棟です。

今回は当院のリハ病棟で具体的に取り組んでいる事を紹介いたします。

◆患者様の事をスタッフ全体が知る事により、患者様により良いリハの提供を目指しています。

*患者様をより良く知るために

- ・入院前よりご家族の相談の受付や他病院との連絡調整を行なっています。
- ・実際の生活環境を確認するために、可能な限り全ての患者様のご自宅を患者様と一緒に病院スタッフが訪問しています。
- ・朝や夕方の動作を確認するため、リハスタッフも早出、遅出を行なっています。
- ・ご家族と一緒に入院中や退院後の生活を考えるため、リハ病棟入院の方には必ず相談員がついています。
- ・土日祝日の相談が可能なように相談員も365日交代で出勤しています。



*患者様の事を全スタッフにより良く知らせるために

- ・病棟での変化や、リハの練習内容の変化を知るため、看護師、介護士、リハスタッフが同じ患者記録に記載しています。
- ・病棟スタッフはリハの現状を、リハスタッフは病棟生活を直接見る機会を増やすために、リハ病棟とリハ室を同じ階に設置しています。
- ・患者様の入院時、動作変更時や問題発生時など、病棟スタッフ、相談員、リハスタッフが集まり話し合い（カンファレンス）を設け、今後の治療計画の立案と見直しを行なっています。

* 患者様の身体機能を出来るだけ向上させるために

- リハ病棟の患者様は 1 日 3 回のリハを 365 日体制で提供するため、リハスタッフも 365 日体制で勤務しています。
- 患者様の動く機会を増やすため、3 度の食事を食堂でとり、その他にも 10 時と 15 時にお茶の時間を設けています。
- ベッドや家具の配置を変え、出来る限りご自宅に近い環境を再現した中で練習できるように、病室の 1 ベッド当たりの面積を 8 m²以上にしています。
- 退院後も継続した支援を行なえるように、入院中より担当ケアマネジャーと連携を図り、デイケアや外来リハ、訪問リハ、訪問看護等のサービスの利用調整を行なっています。又、退院前にはご家族やケアマネジャーを含め、退院後の生活について話し合う場を設けています。



食堂



病室



リハ室

* 当院の回復期リハ病棟 データ (平成 25 年 6 月～11 月) 病床数 38 床

リハの平均時間 患者様一人当たり 1 日約 160 分 (7.99 単位)

在宅復帰率 95% 重症入院率 25% 重症者退院時回復割合 (3 点以上) 60%

* 回復期病棟に関するご相談は、お気軽に医療相談室までお声掛け下さい。

病院理念 「心に残る医療を提供する」

基本方針

1. 地域社会に開かれた病院
2. 当院を利用される方に安全・安心を与えられる病院
3. 常に新しい医療を提供する病院
4. 当院を利用される方達が気楽に利用しやすい病院
5. 当院を利用される方が満足を得られる医療を提供する病院
6. 職員をはじめ当院に関わる人達も満足を得られる病院

